

*Alphatite Implant*

# *MJ Guide System*

Vol.2 改

*TF-type 37/43*

ドリリング手順  
埋入術式  
メンテナンス



KENTEC

# CONTENTS（目次）

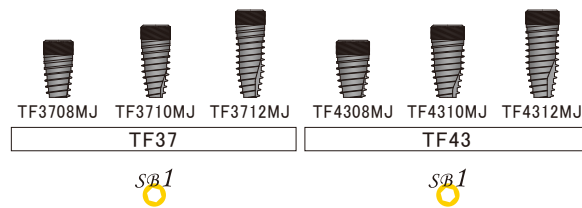
|                                            |       |
|--------------------------------------------|-------|
| MJガイドシステムご使用にあたってのポイントと注意点 .....           | 3～ 4  |
| TF-typeインプラントを用いたガイドッドサージェリーの設計コンセプト ..... | 5     |
| 手術前の確認事項・注意事項 .....                        | 6～ 8  |
| リングトップからドリル先端までの距離                         |       |
| レギュラーコントラヘッド用 .....                        | 9     |
| ミニコントラヘッド用 .....                           | 10    |
| インプラント手術時の確認事項・注意事項 .....                  | 11    |
| ドリリング                                      |       |
| ドリリング手順 .....                              | 12    |
| インプラントのパッケージ形態と同梱物.....                    | 13    |
| 埋 入                                        |       |
| 埋入手順 .....                                 | 14～16 |
| MKボーンミルの操作方法(インプラント天井部の骨除去).....           | 17    |
| 器具のメンテナンス                                  |       |
| 概 要 .....                                  | 18    |
| 外科器具類の分解・取付方法 .....                        | 18    |
| 外科器具の洗浄 .....                              | 18    |
| 超音波洗浄器での洗浄 .....                           | 19    |
| 外科器具の滅菌 .....                              | 19    |
| 外科器具の保管 .....                              | 19    |
| ドリルプロトコール                                  |       |
| レギュラーコントラヘッド用ドリルプロトコール .....               | 20    |
| ミニコントラヘッド用ドリルプロトコール .....                  | 21    |
| MJガイドシステムラインナップ .....                      | 22    |

製品は予告なく変更される場合がございます。予めご了承ください。

当マニュアルに掲載しております製品等に関しましては、お気軽に当社までお問い合わせください。

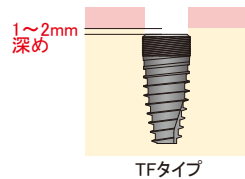
## MJガイドシステムご使用にあたってのポイントと注意点

### 使用可能な インプラント



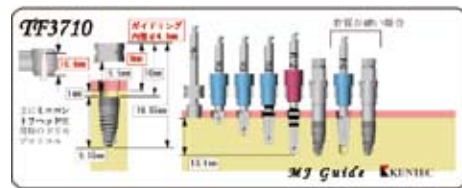
現在、MJガイドシステムでご使用頂けるインプラントは左図の6種類です  
(2017.4月現在)

### インプラントの 埋入深度



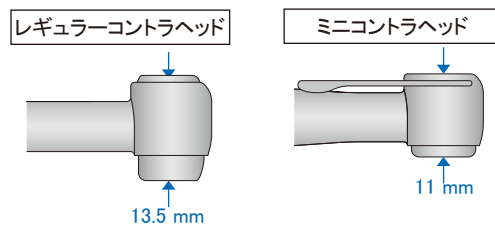
TF-typeインプラントは骨縁より1~2mm  
深めに埋入できるよう、設計をお願いします。

### ドリルプロトコール



MJガイドシステムではドリルプロトコールをご用意しています。ドリルプロトコールはコントラヘッドの種類(レギュラーコントラヘッドもしくはミニコントラヘッド)により異なります。術前に必ずご確認頂くとともに、術中も確認できるよう近くに置いてください。

### コントラヘッド



MJガイドシステムではコントラヘッドの種類(レギュラーヘッドもしくはミニヘッド)により、ドリルとガイドストッパーの組み合わせが異なります。ドリルプロトコールをご参考のうえ、必ずご確認ください。

### ドリリング・埋入 回転速度

<ドリリング>  
推奨回転数 : 800 rpm以下  
推奨トルク値 : 30 Ncm以下

<埋入>  
推奨回転数 : 20 rpm以下  
推奨トルク値 : 35 Ncm以下

ドリリング及びインプラント埋入時の推奨回転数及び推奨トルク値は左記の通りです。

### メンテナンス について

<オートクレーブ>  
滅菌温度 : 121℃  
滅菌時間 : 20分以上

乾燥時間 : 30分以上

滅菌温度、時間は左記の通りです。また、器具類は完全に乾燥させて保管してください。



MJガイドシステムツール・ドリルー式

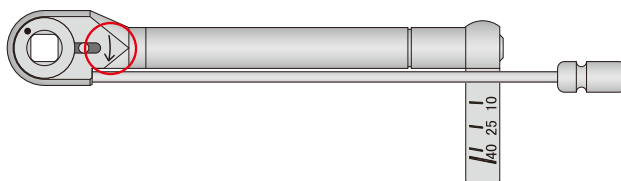
MJガイドシステムは植立孔穿孔のためのドリルセットです。セット内容については巻末P22をご覧ください。セット以外には以下の①トルク付ラチェットレンチ、②スクエア・エクステンション、③HEXホールドドライバー22、⑤スクエア・ハンドドライバーが必要です。必ずご確認ください。また、ぜひお持ち頂きたいツールとして④SB1-MKボーンミルがあります。詳細はP17をご覧ください。

MJガイドシステムは、内部注水が可能な電気エンジン、コントラヘッドが必要です。お手持ちの電気エンジンが内部注水に対応しているか、そしてそのためのパーツがあるかを必ず前もってご確認ください。

※下記の①～⑤のオプション商品はMJガイドシステムセットには含まれておりませんので、別途購入が必要となります。

## ①(オプション)トルク付ラチェットレンチ

エンジン埋入でスタックした後、インプラントに挿入ジグを取り付けて埋入するためのツールです。矢印(赤丸部分)の面を上にしてSSB1-挿入ジグR/W-MJまたは②スクエア・エクステンションに差し込みます。



## ③(オプション)HEXホールドドライバー22

封鎖キャップ取付の際に使用します。また、補綴の際、アバットメントのネジ止め等にも使用します。



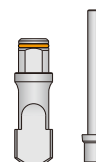
## ②(オプション)スクエア・エクステンション

①トルク付ラチェットレンチの取り付け部の高さを延長するためのツールです。赤いゴム部分(赤矢印部分)を上にして挿入ジグに差し込みます。

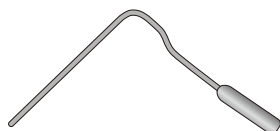


## ④(オプション)SB1-MKボーンミル

インプラント上部の骨を除去するためのツールです。



## 内部注水ノズル※1

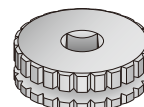


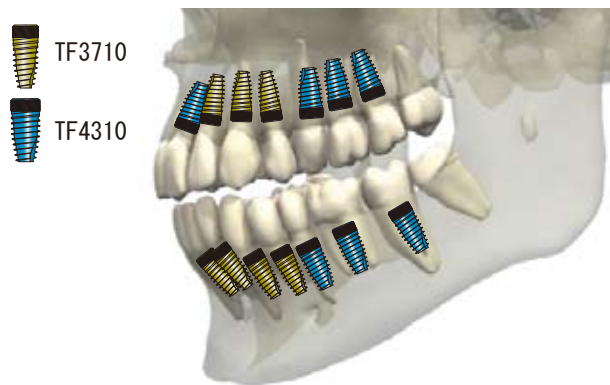
※1 内部注水ノズルは各コントラメーカーにより異なる場合があります。詳細はお手持ちのコントラヘッドのメーカーにご確認ください。

※2 内部注水ノズルが複数種類がある場合には一番短いノズルをご確認ください。

## ⑤(オプション)スクエア・ハンドドライバー

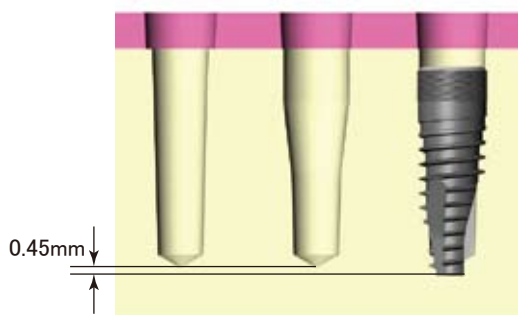
④SB1-MKボーンミルに取り付け、手回しで使用するためのツールです。





アルファタイトインプラントはアバットメントとインプラントの間にマイクログラフメントがほとんど起こらないDM嵌合が特徴です。それゆえ、骨縁下埋入が可能となります。従ってインプラントシミュレーションの際は骨縁下1mm以上深めに位置するよう設計してください。わずかも骨縁上に露出するような設計は避けてください。TF-typeインプラントは骨縁下埋入のために設計されたインプラントです。

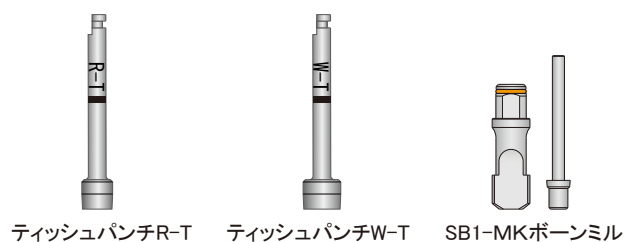
また、下顎管の位置が近く、長さ10mmのインプラントを埋入すると骨縁上にインプラント頭部が露出する場合は、長さ8mmのインプラントを選択し、必ずインプラントボディ全てを骨縁下に埋入してください。



インプラントシミュレーションは、骨量、対合関係、補綴形態を考慮して、インプラントの最適な埋入位置を見つけることです。

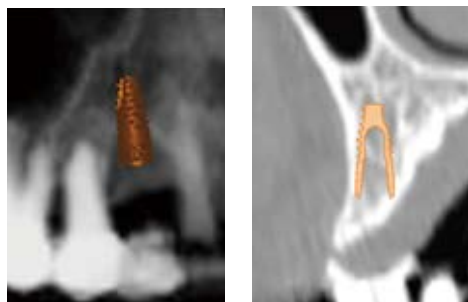
インプラントはドリル穿孔により植立孔を形成し埋入しますが、一般にインプラントの長さよりも深めの植立孔を形成します。深さ方向の安全性に関しては、ドリリングによる深さがインプラントの長さよりも重要な値となる為、本来ならばドリルの長さで埋入深さを決定すべきです。

しかし、MJガイドシステムは、ドリリングによる植立孔の深さがインプラントの先端位置よりもわずかに浅く設定されます。そのわずかな深さの差を、TF-typeの持つ自己穿孔能力により潜り込ませ埋入が完了します。つまり、インプラントシミュレーションは**インプラントの埋入位置**で設定することになります。



インプラントシミュレーションの結果、骨の幅が十分あり、深さ方向も安全性が確保されているならば、フラップレス（歯肉を切開剥離しない）の術式が可能と考えます。ただしその最終判断はインプラント埋入の際、口腔内を診て判断すべきです。とは言えシミュレーションの段階で可能かどうかを考慮してください。

また、埋入後1回法で行くか、2回法で行くかで、ヒーリングキャップを取り付けるかどうかが決まります。1回法で行く場合はインプラントプラットフォームの骨を除去するためにMKボーンミルの準備も必要となりますので、シミュレーションの段階である程度決定してください。



補綴主導の設計でインプラントの位置決めをした場合のシミュレーションの様子  
(TF-typeインプラントの特徴である深めの埋入が重要)

インプラントシミュレーションは補綴主導によるインプラント埋入を実現しました。ワックスアップ等からの補綴物の情報により、その補綴物に対してどの位置に埋入すべきかを考えることが出来ます。できるだけ中心部に、そして垂直に咬合圧を受けるようインプラントを配置して頂きたいと思います。

インプラントの埋入深度が多少深くなっても、補綴主導埋入となるよう注意して設計してください。

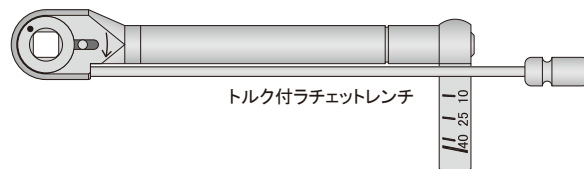
## 手術前の確認事項・注意事項

### ＜MJガイドシステムツール・ドリルー式、サージカルガイド、インプラント用エンジン、ドリルプロトコール＞

ガイドドサージェリーに必要な器具類は、MJガイドシステムツール・ドリルー式とトルク付ラチェットレンチ（インプラント植立時に使用）、スクエア・エクステンション（インプラント植立時にラチェット取付け部を延長する際に使用）、HEXホールドドライバー22（封鎖キャップの取り付け）、SB1-MKボーンミル（ヒーリングキャップ取付時、骨を整える際に使用）が必要です。そして、症例毎のサージカルガイドが必要です。それぞれ、下記の内容をチェックしてください。



MJガイドシステムツール・ドリルー式



トルク付ラチェットレンチ

HEXホールドドライバー22

スクエア・エクステンション

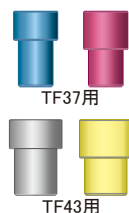
SB1-MKボーンミル

スクエア・ハンドドライバー

- 1 ガイドストッパーをドリルに取り付け、サージカルガイドのガイドリングにガイドストッパーがスムーズに入っていくかご確認ください。また、コントラヘッドとサージカルガイドが干渉しないかを確認してください。さらに、サージカルガイド内にガイドリングが2種類（大、小）入っている場合はガイドストッパーの色を確認してください。TF37用はガイドリングがレギュラーサイズ、ガイドストッパーは青と赤を使用します。TF43用はガイドリングがワイドサイズ、ガイドストッパーは銀と黄を使用します。



【ガイドストッパー】



TF37用

TF43用

【ガイドリング】

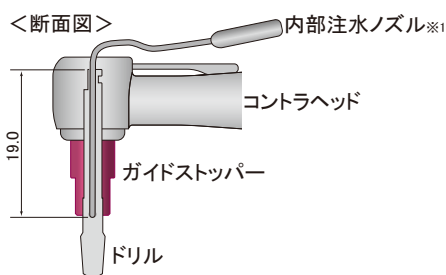
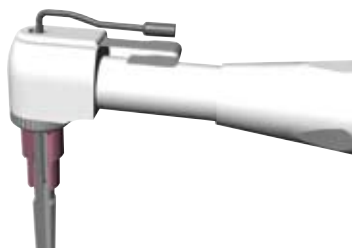


TF37用

TF43用

- 2 コントラヘッドにガイドストッパーをつけたドリルを取り付け、内部注水ノズルがスムーズに入っていくことをご確認ください。また実際に水を流し、ドリル先端に水が誘導されることをご確認ください。

※1 内部注水ノズルはコントラヘッドのメーカーにより異なる場合がありますので、詳細はお持ちのコントラヘッドのメーカーにご確認ください。



＜断面図＞

内部注水ノズル※1

コントラヘッド

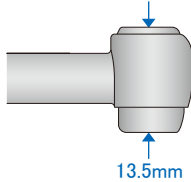
ガイドストッパー

ドリル

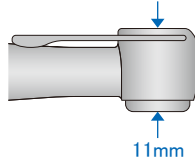


- 3** 埋入するインプラントのドリルプロトコールをご確認ください。お手持ちのコントラヘッドが2種類ある場合はドリルプロトコールに記載のあるコントラヘッドをご使用ください。  
※お買い上げ頂いた段階で、お手持ちのコントラヘッドがミニもしくはレギュラーかご確認頂いていると思います(お手持ちのドリルプロトコールはそれに合わせてご購入いただいております)。

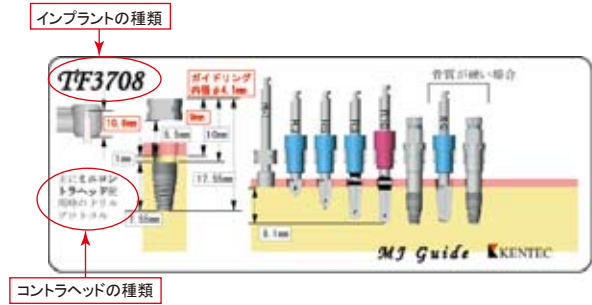
【レギュラーコントラヘッド】



【ミニコントラヘッド】



【ドリルプロトコール】





## ＜その他の器具類・サージカルガイド＞

- 1 挿入ジグをサージカルガイドのガイドリングに挿入(図1)し、トルク付ラチェットレンチが取り付け可能かをご確認(図2)ください。また、挿入ジグ、トルク付ラチェットレンチがサージカルガイドと干渉しないかご確認ください。さらに挿入ジグにスクエア・エクステンションが取り付け可能かをご確認(図3)ください。

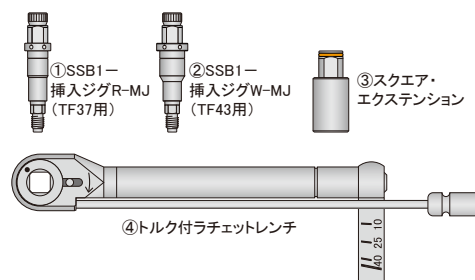
(図1)



(図2)

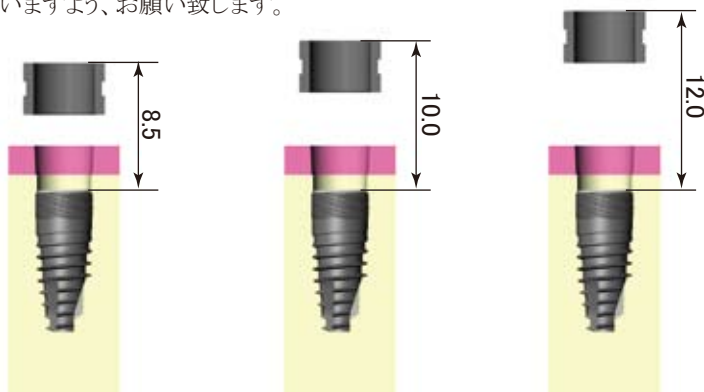


(図3)

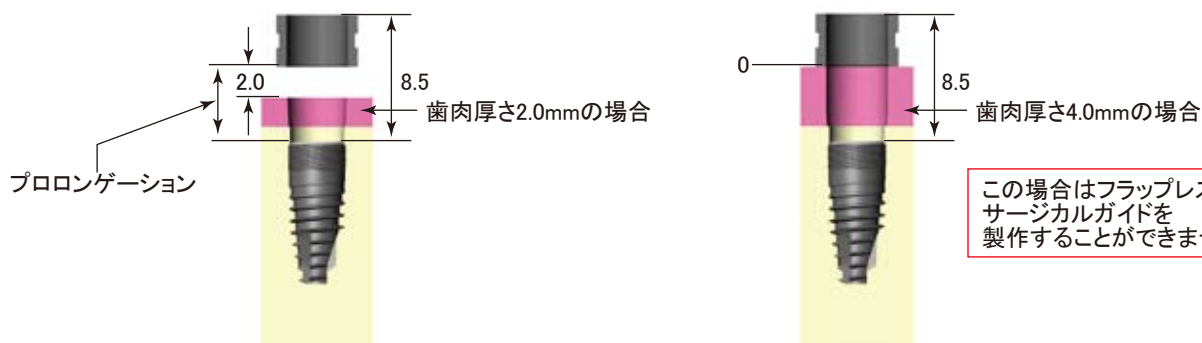


## ＜サージカルガイド、ドリルプロトコール＞

- 1 サージカルガイドは、製造元の報告書をご覧いただき、先生ご自身の設計通りにできているかを必ずご確認ください。特に、インプラントプラットフォームからリングトップまでの高さが最も重要です。MJガイドシステムでは、この距離を10mmに設定するのが基本です。(お渡ししたドリルプロトコールも10mmで作成しております。) ただし、大臼歯部でクリアランスがない場合は8.5mmに変更可能です。8.5mmのドリルプロトコールをご希望の場合は、弊社までお問い合わせください。また、12mmに変更する場合があります。その際は、ドリルプロトコール記載のファイナルドリルより2mm長いドリルをファイナルとしてご使用ください。このようにリングトップの位置を変更することでドリルとガイドストッパーの条件が変わってきますので、ご注意ください。リングトップの位置からドリル先端までの一覧をP9～10に掲載しております。どんな場合でも必ずその値をご確認いただき、深さ方向の安全性を考慮くださいますよう、お願い致します。



- 2 次に考慮すべきことは、リングアンダーから歯肉までの距離です。これが0であれば(下右図)フラップレス用のサージカルガイドの製作は基本的には難しくなります。上記のリングトップの位置を上げるのが一般的です(模型に装着して実際の距離をご確認ください)。ただし、歯肉の切開剥離を条件で製作する場合があります。その際はフラップオペレーションが絶対条件となります。MJガイドシステムのドリルプロトコールでは、1mmの深め埋入を行う際のインプラントプラットフォームからリングアンダーまでの距離を示しています。そこに歯肉の厚み+1mmを 加算したイメージを持ってください。またリングアンダーとインプラントプラットフォームの距離を一般にプロロンゲーションと呼びます。

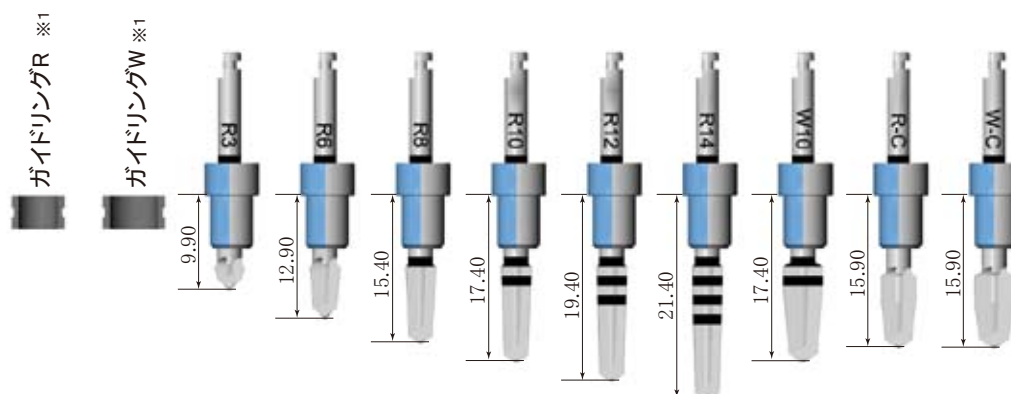


この場合はフラップレス用のサージカルガイドを製作することができません。



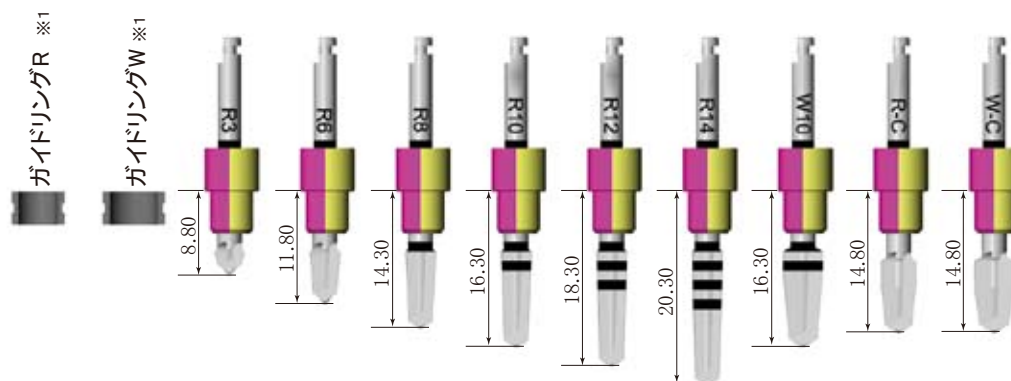
【レギュラーコントラヘッドを使用の場合】

ガイドストッパーRS ■  
ガイドストッパーWS ■



※1 ガイドリングRおよびガイドリングWはサージカルガイドの中に埋め込まれています。

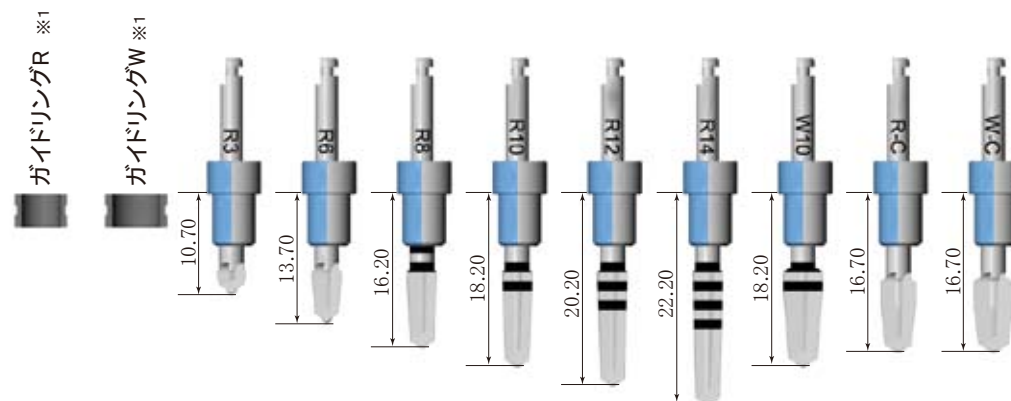
ガイドストッパーRM ■  
ガイドストッパーWM ■



※1 ガイドリングRおよびガイドリングWはサージカルガイドの中に埋め込まれています。

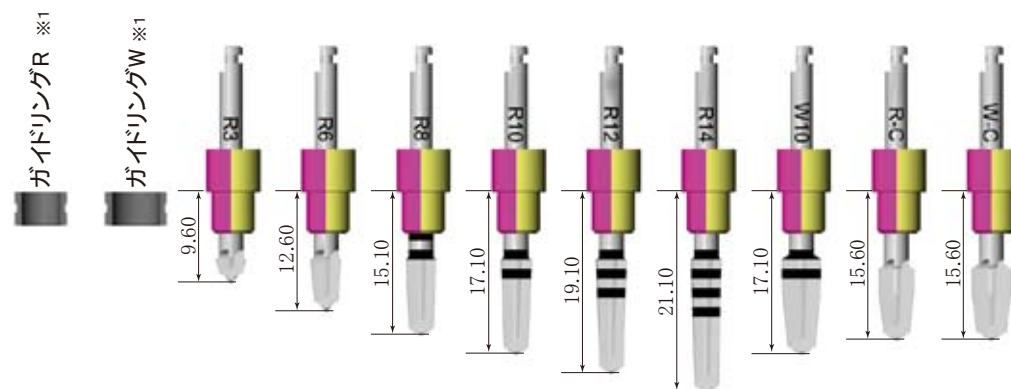
【ミニコントラヘッドを使用の場合】

ガイドストッパーRS ■  
ガイドストッパーWS ■



※1 ガイドリングRおよびガイドリングWはサージカルガイドの中に埋め込まれています。

ガイドストッパーRM ■  
ガイドストッパーWM ■

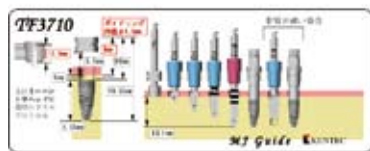


※1 ガイドリングRおよびガイドリングWはサージカルガイドの中に埋め込まれています。

## インプラント手術時の確認事項・注意事項

- 1** 使用するインプラントを選択し、それに合わせたドリルプロトコルを準備します。ドリルプロトコルに従いドリルとガイドストッパーを組み合わせて、ツールボックスの所定の位置に立てて下さい。術中は左側のドリルから順次ご使用ください。（ここではTF3710MJを例にしてご説明します）

（例）【インプラントの選択】 → 【ドリルプロトコルの準備】 → 【ドリルとガイドストッパーの組み合わせ】



ドリルプロトコルに沿って  
ガイドストッパーを付けた  
左側のドリルから順に使用します

- 2** 消毒したサージカルガイドを口腔内にしっかり固定することができるかを最終的に必ず確認してください。また、取り付け、取り外しに慣れてください。



- 3** フラップレスオペの際、ティッシュパンチを使用します。ティッシュパンチにもガイドストッパーの取り付けが可能ですので、最初はガイドストッパーを取り付け、サージカルガイド越しに歯肉に丸くマーキングしてください。その後、サージカルガイドを取り外し、マーキングにティッシュパンチを重ねて、骨面にまんべんなく刃が当たるように押し付けてください。そうすることで、丸く歯肉を抜きやすくなります。  
また、サージカルガイドを取り付けたまま、ティッシュパンチからガイドストッパーを外しても同じ作業が可能です。

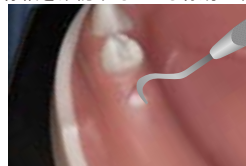
**推奨回転数：800rpm以下**



- 4** ティッシュパンチの操作の際、丸く切り抜いた歯肉が比較的容易に剥離でき、骨面を確認した場合、その骨面がフラットな状態であればフラップレスのオペが可能と考えます。ここで最終的に切開剥離を行うかを判断してください。

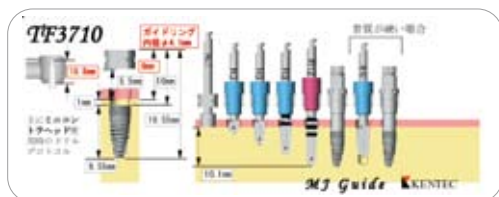


下図のように探針で  
骨幅を確認することも有効です



※ MJガイドシステムでは、フラップレスオペを推奨するわけではありません。  
基本的にはフラップオペにてインプラント埋入を行って頂きたいと思えます。  
しかしながら、CT上とパンチング後の骨の情報からフラップレスが可能と  
判断できる場合は行って良いと考えます。

## step 1



ドリルプロトコールを選択します。



## step 2



サージカルガイドを取り付け、ティッシュパンチにより歯肉を切除します。

推奨回転数: 800rpm以下

## step 3



歯肉を切除した状態です。

※骨表面を確認し、CTと同様に骨があることを確認してください。

## step 4



サージカルガイドを取り付け、ドリルプロトコールに従い、ドリル穿孔を行い、植立孔を拡大形成します。

推奨回転数: 800rpm以下

## step 5



骨質が硬い場合はカウンターシンクを使用します。(上記Step1のドリルプロトコール参照)最終植立孔形成後、骨からの出血を確認します。

推奨回転数: 800rpm以下

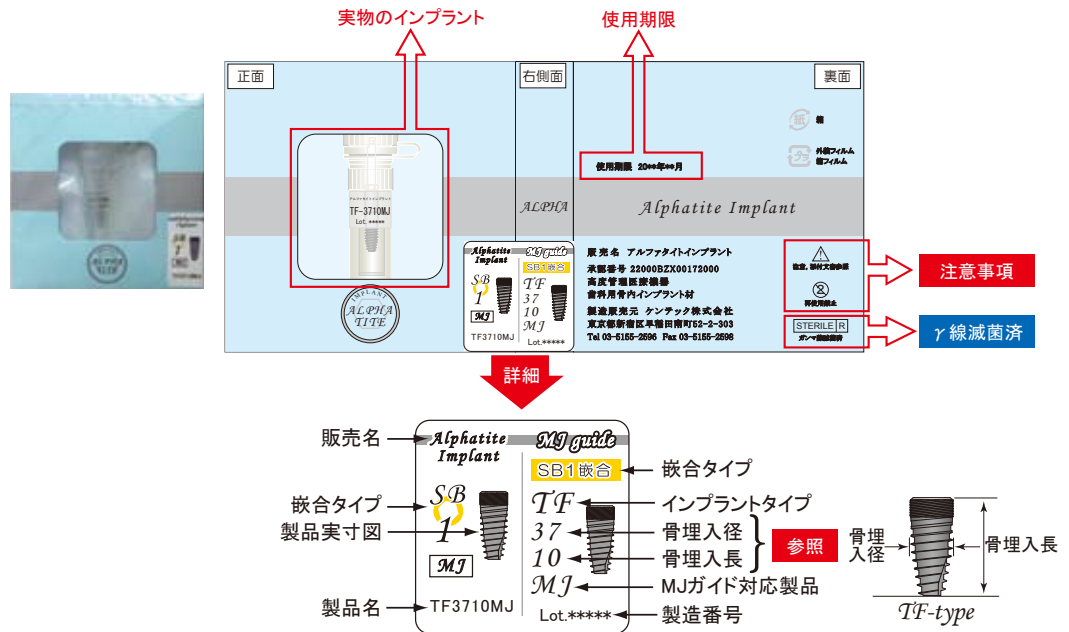
## step 6



最終植立孔形成後の状態です。

※ここではTF3710MJを使用して説明しています。

## インプラントの パッケージ形態



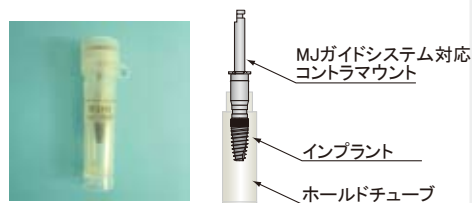
## インプラントの パッケージ同梱物

### 1 インプラントと封鎖キャップ γ線滅菌済



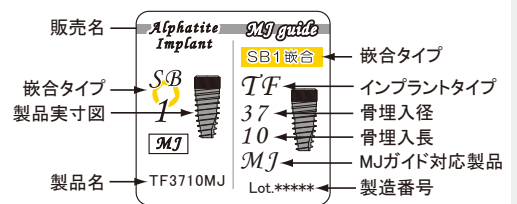
インプラントは箱に入った状態でγ線滅菌されています。箱から取り出すと滅菌バッグに入った状態でプラスチック容器に入ったインプラントボディと付属の封鎖キャップが入っています。

### コントラマウントとインプラント



プラスチック容器を開けると上図のような形態になっています。コントラマウントはインプラント内のインターナルHEXと嵌合し、コントラマウント先端のシリコンゴムによりインプラント内部のチューブ部分に固定されています。

### 2 インプラント用カルテシール



インプラントのパッケージの中には上図のようなカルテシール(実物は30×30mm程度)が同梱されていますので、インプラント埋入時には、必ずカルテシールや臨床管理カード等に貼付して、事後管理にお役立てください。

### 3 添付文書

この製品に関する重要事項が記載された添付文書が同梱されています。ご使用前には必ずご一読ください。

## 埋入手順

### step 1



箱横部にあるセロファンを取り口(赤丸部分)から箱を開け、滅菌バッグを取り出します。  
＜不潔域(非滅菌領域)での操作＞

### step 2



滅菌バッグを開けます。  
＜不潔域(非滅菌領域)での操作＞

### step 3

ここからは清潔域(滅菌領域)での操作です。



滅菌バッグからプラスチックチューブケースを取り出します。

プラスチックケースのふたを回して開け、コントラマウント部を持ち、インプラントボディを取り出します。



※この時点で、内部注水ノズルを取り外し、イリゲーションチューブをコントラヘッドの外部注水部に接続しなおしておくことを推奨します。



ホールドチューブを持ち、コントラマウント部をコントラヘッドに確実にセットします。  
ホールドチューブを手で少し回しながらコントラヘッドに締め込まれたことをご確認ください。取り付けの際、インプラントボディの表面処理部には絶対に触れないようにご注意ください。

ホールドチューブの根本を持ち、インプラントの長軸と平行に引き下げるようにして、ホールドチューブを外します。  
この際も先ほどと同様、インプラントボディの表面処理部には絶対に触れないようにご注意ください。



## 埋入手順

### step4

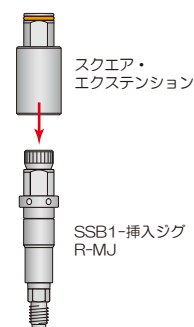
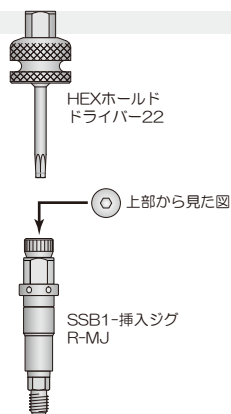


**推奨回転数: 20rpm以下 推奨トルク値: 35Ncm以下**

インプラントの埋入を行います。まず、エンジンの設定を埋入用のプログラムに変更し、低速で回転することを必ずご確認ください。その後、外部注水に切り替え、エンジンの注水モードを利用して、予めインプラントボディ全体を生理食塩液で十分に濡らしてください。その後、注水を止め、無注水で埋入してください。

インプラントボディがガイドリングに触れないよう、注意して埋入していきます。  
トルク値がオーバーしてスタックするか、埋入予定の位置まで埋入できましたら、コントラマウントを引き抜いてください。

### step5



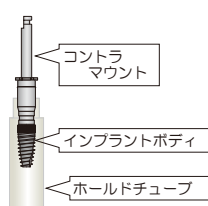
エンジン埋入時にインプラントがスタックした場合は、MJガイドシステム用の挿入ジグ (SSB1-挿入ジグ R/W-MJ) をインプラントに取り付けます。サージカルガイドと挿入ジグが干渉して正確に接続していない恐れがあるため、挿入ジグのネジを手で締めた後、さらにHEXホルドドライバ-22をネジ天井部のHEX孔に挿入し、しっかりと締結してください。

トルク付ラチェットレンチを取り付け、さらにインプラントボディを埋入します。トルク付ラチェットレンチがサージカルガイドと干渉する場合にはスクエア・エクステンションを用いて高さを延長してください。サージカルガイドを外して、インプラントボディが骨縁下に完全に埋入されていることを必ずご確認ください。

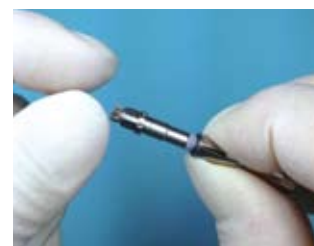
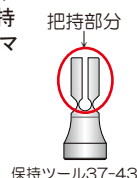
### 【骨が軟らかい場合】



製品に付属されているコントラマウントから、MJガイドシステム用の挿入ジグに交換します。  
まず、コントラマウント部を手で持ち、ホルドチューブを外してください。



保持ツール37-43にインプラントボディを差し込み、保持ツール37-43の把持部分を押し込めてコントラマウントを引き抜きます。



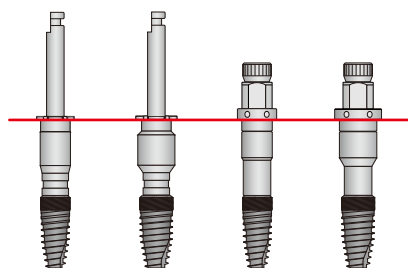
インプラントボディにMJガイドシステム用の挿入ジグを取り付けネジ止めします。  
インプラントボディがガイドリングに触れないよう、十分注意して埋入を行ってください。



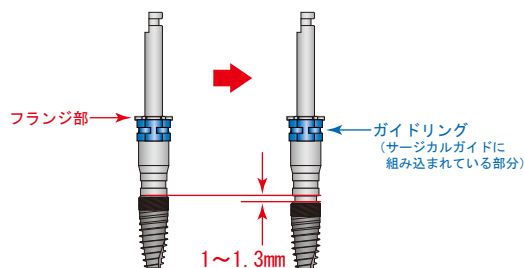
**※挿入ジグ交換の際、インプラントボディの表面処理部には絶対に触れないようご注意ください。**



## step 6

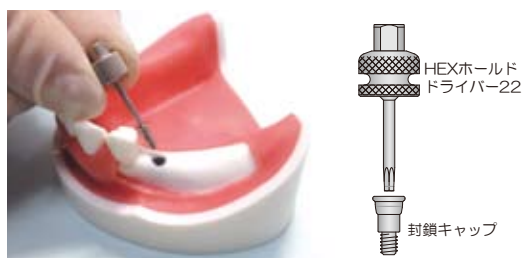


インプラントの埋入位置は、六角の頂点を示すマーキングの入ったフランジ部(上図赤ライン)がサージカルガイド上面に当たるまでとなります。

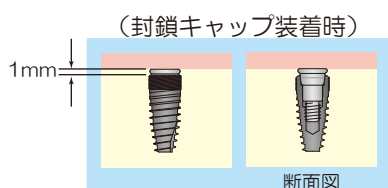


MJガイドシステム対応インプラントの場合、フランジ部がガイドリングに接触した後も回転を続けてしまうと、インプラントのネジ効果で、インプラントが計画よりも最大1.3mmほど深く埋入されてしまう恐れがありますので、十分にご注意ください。

## step 7

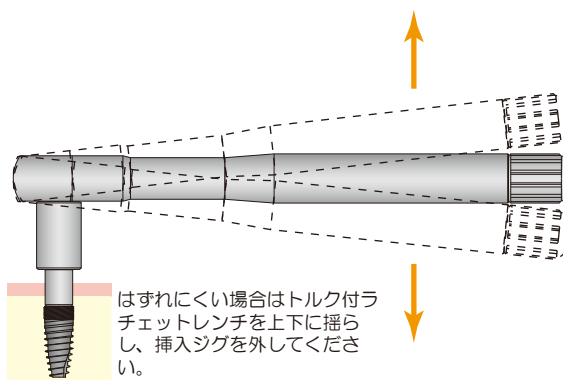


インプラントに付属している封鎖キャップはHEXホルドドライバー22(オプション)で取り付けてください。  
 辺縁骨が出ている場合には、オプションでご用意しているSB1-MKボーンミルで辺縁骨の形成を行ってください。  
 ※SB1-MKボーンミルの操作方法は P17 MKボーンミルの操作方法 をご参照ください。



※TF-typeは封鎖キャップがインプラントのプラットフォームより1mm露出します。(上図(封鎖キャップ装着時)をご参照ください)

※インプラント内部に血液等が入った場合、生理食塩液で洗浄し、エアーで水分を吹き飛ばしてから、封鎖キャップを取り付けてください。(軟膏等の塗布はしないでください。)



挿入ジグが外れにくい場合には、挿入ジグ上部にスクエア・エクステンションとトルク付ラチェットレンチ(オプション)を取り付け、上図のように上下に揺らして揺らしてください。  
 また、サージカルガイドごと挿入ジグを外すと簡単に外れることがあります。

## step 8

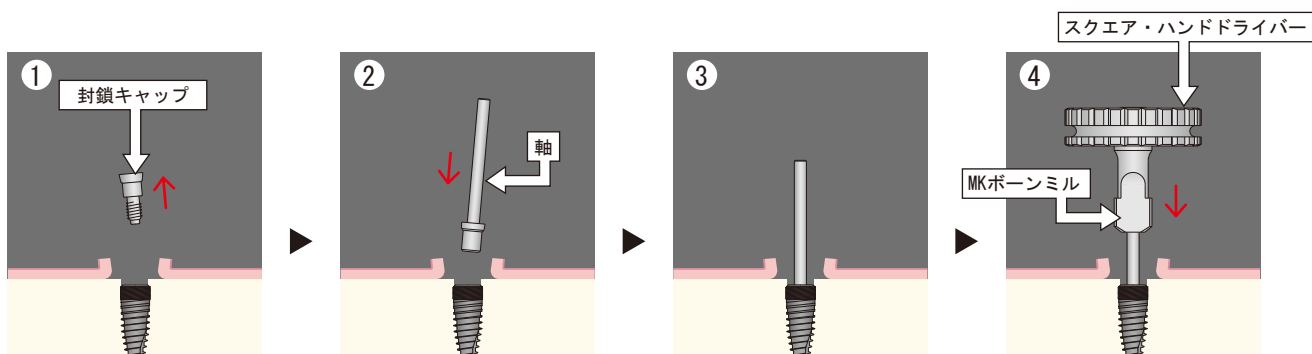
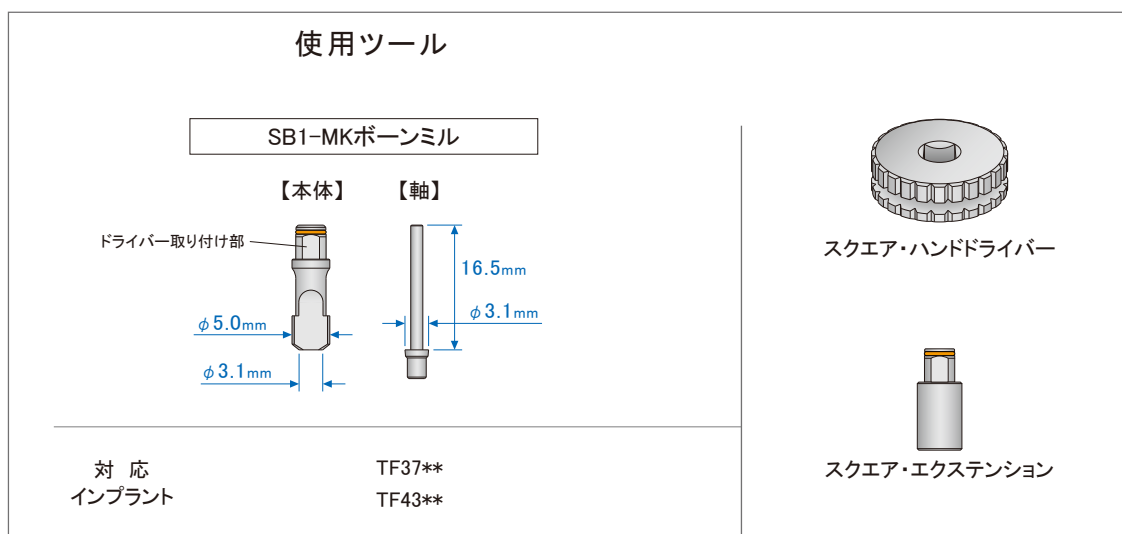


これで植立は完了です。  
 上顎で約3~6ヶ月、下顎で約2~4ヶ月程度、静置してください。

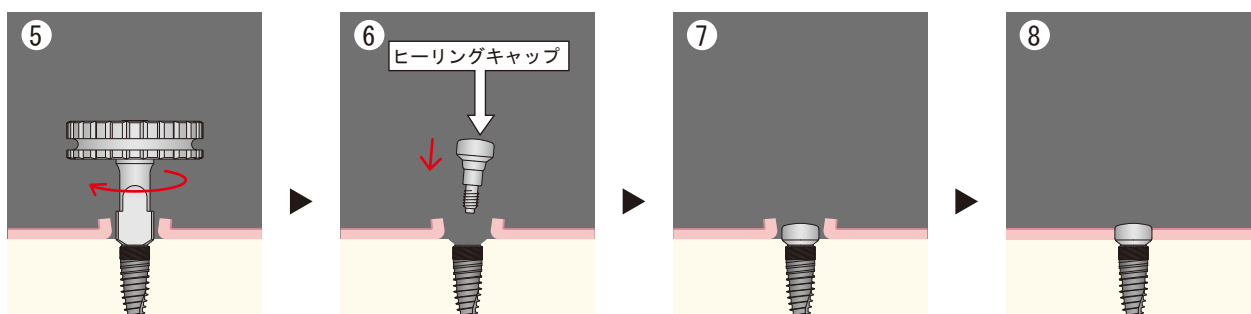
※静置期間につきましては症例により、若干異なる場合があります。最終的には処置内容により、適切にご判断ください。

※模型の写真はご覧いただきやすいように、歯肉を大きめにカットしております。予めご了承ください。

## 使用ツール



- ① インプラントから封鎖キャップを外します。
  - ②～③ MKボーンミルの「軸」をインプラントに取り付けます。
  - ④ 予め「MKボーンミル」に「スクエア・ハンドドライバー」を取り付け、軸に差し込みます。  
隣在歯や口唇に干渉する場合には「スクエア・エクステンション」を取り付けて、高さを延長してください。
- ※「軸」はインプラントに押し込むことで、テーパー嵌合し安定します。



- ⑤ 「MKボーンミル」を押さえつけながら回転させ、骨を除去します。
- ⑥～⑧ 「MKボーンミル」を取り外し、ヒーリングキャップを取り付けます。

## 【概 要】

- 1 外科器具はインプラント埋入手術終了後、速やかにメンテナンスを行ってください。  
外科器具を洗浄する際には、必ずグローブ等をはめて、感染対策をした上で洗浄作業を行ってください。  
●ティッシュパンチR-T/W-T、スタートドリル類、カウンターシンクR-C/W-Cはガイドストッパーを取り外し、洗浄してください。  
●SSB1-挿入ジグR-MJ/W-MJは必ず中ネジを外して、洗浄してください。  
●分解できない外科器具(保持ツール37-43、CAエクステンションMJ)に関しても同様に洗浄してください。

洗浄方法については下記及び19ページを参照ください。

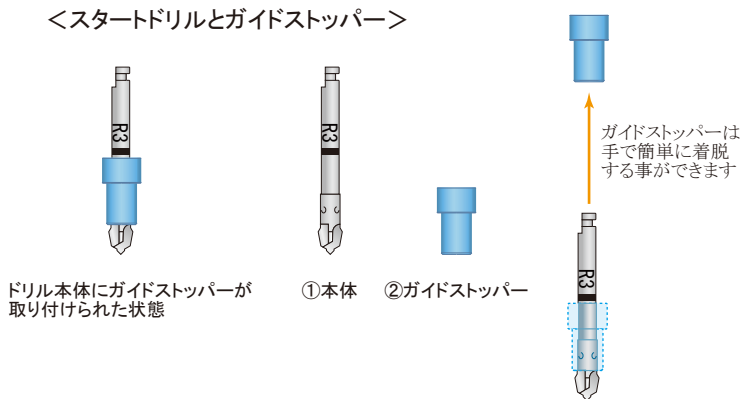
- 2 洗浄後の乾燥及び滅菌後の乾燥は確実に行ってください。
- 3 メンテナンスは、この手順書に従って確実に行ってください。  
その他オプションツール類のメンテナンスに関しましては「スターターキット33/37/40/43術式マニュアル」をご参照ください。



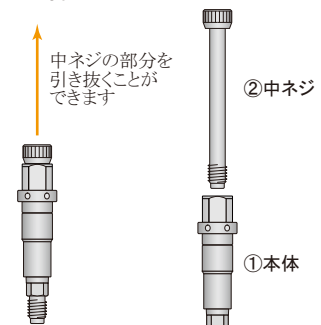
## 【外科器具類の分解・取付方法】

ティッシュパンチR-T/W-T、スタートドリル類、カウンターシンクR-C/W-Cはガイドストッパーをドリルから外して洗浄してください。

### <スタートドリルとガイドストッパー>



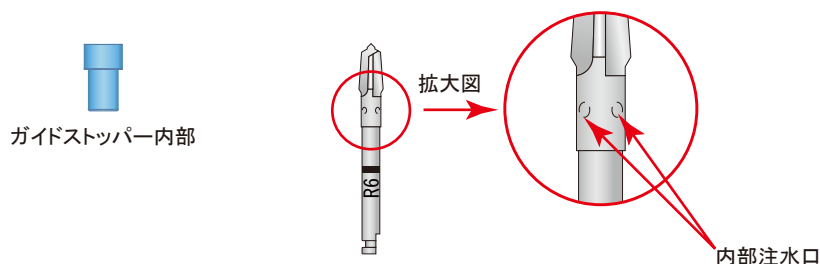
### <SSB1-挿入ジグR-MJ/W-MJ>



## 【外科器具の洗浄】

外科器具は使用後、細部(ガイドストッパー内部等)に血液、体液等が残ることがありますので、必ず除去してください。  
ドリルの内部注水口やドリル内部は歯間ブラシもしくは16号のナイロンラインを通し、必ず清掃してください。  
また、ドリルの内部(上部から1.2mm位の位置)に逆流防止のための軸がありますので、気を付けて清掃器具を挿入してください。

※ドリルの内部注水口の清掃の際は、先の細い器具を使用するため、手指等への刺傷や刺傷等による感染を起こさないよう十分ご注意ください。



## 器具のメンテナンス

次のような点にご注意のうえ、ご使用ください。

### 【超音波洗浄器での洗浄】

- ①分解した製品や全ての部品は規定の濃度に希釈したタンパク除去剤を容器に入れ、超音波洗浄してください。  
※注意:ドリルの刃同士はできるだけ、ぶつからないようにしてください。
  - ②流水下でタンパク除去剤を洗い流し、その後、純水で超音波洗浄してください。
  - ③洗浄完了後、清潔なタオルで水分を拭き取り、水分やタオルの糸くずなどが残らないようにエアブロー等で完全に吹き飛ばしてください。
- ※洗浄後は確実に乾燥をさせてから組み立て等を行ってください。水分が残っているとサビ等の原因となりますので、十分にご注意ください。

### 【外科器具の滅菌】

すべての外科器具は洗浄・乾燥が完了したら、ツールボックスの所定の位置(下記参照)に収納します。



- ガイドストッパーRS/RM/WS/WM
- ティッシュパンチR-T/W-T
- スタートドリルR3/R6/R8/R10/R12/R14
- カウンターシンクR-C/W-C
- CAエクステンションMJ
- スタートドリルW10
- SSB1-挿入ジグR-MJ/W-MJ
- 保持ツール37-43

ツールボックスは適正な大きさの滅菌バッグに入れ、121℃(推奨)で滅菌し、完全に乾燥(30分以上)させてください。

### 【外科器具の保管】

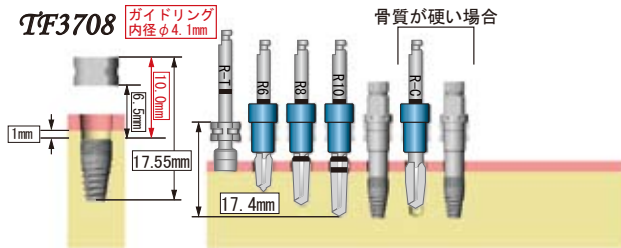
滅菌器での完全乾燥終了後、高温多湿・直射日光・埃等を避けて保管してください。

次回手術日の1～3日前にツール内容をご確認の上、再度滅菌をしてからのご使用を推奨致します。  
再滅菌の際には新しい滅菌バッグをご使用ください。滅菌バッグは再使用不可です。

# レギュラーコントラヘッド用ドリルプロトコール

リングトップからインプラントプラットフォームまで: 10.0mm

注意事項: インプラントの埋入深さは、挿入ジグとリングトップが接触するまでです。



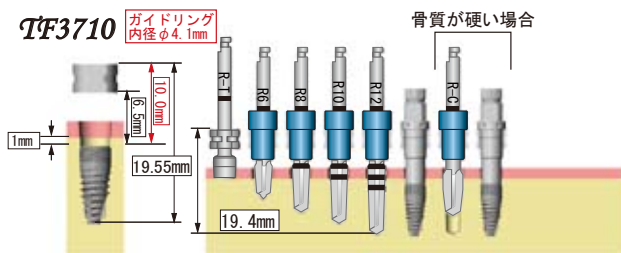
必要なクリアランス  
37.3mm

ドリルの最大深度  
8.4mm

インプラントの最大深度  
8.55mm

(全て骨面から)

- ドリル (ガイドストッパー)
1. R-T/-
  2. R6/RS (青)
  3. R8/RS (青)
  4. R10/RS (青)
  5. R-C/RS (青)



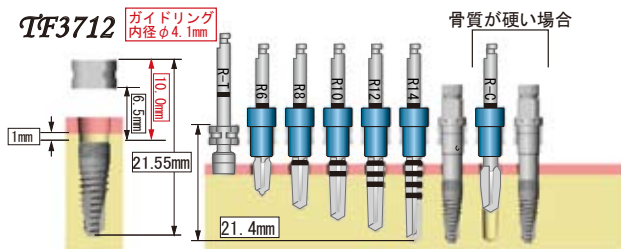
必要なクリアランス  
39.1mm

ドリルの最大深度  
10.4mm

インプラントの最大深度  
10.55mm

(全て骨面から)

- ドリル (ガイドストッパー)
1. R-T/-
  2. R6/RS (青)
  3. R8/RS (青)
  4. R10/RS (青)
  5. R12/RS (青)
  6. R-C/RS (青)



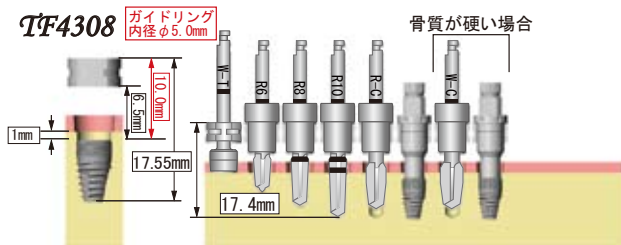
必要なクリアランス  
41.1mm

ドリルの最大深度  
12.4mm

インプラントの最大深度  
12.55mm

(全て骨面から)

- ドリル (ガイドストッパー)
1. R-T/-
  2. R6/RS (青)
  3. R8/RS (青)
  4. R10/RS (青)
  5. R12/RS (青)
  6. R14/RS (青)
  7. R-C/RS (青)



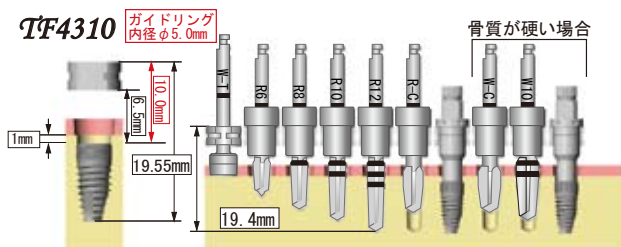
必要なクリアランス  
35.8mm

ドリルの最大深度  
8.4mm

インプラントの最大深度  
8.55mm

(全て骨面から)

- ドリル (ガイドストッパー)
1. W-T/-
  2. R6/WS (銀)
  3. R8/WS (銀)
  4. R10/WS (銀)
  5. R-C/WS (銀)
  6. W-C/WS (銀)



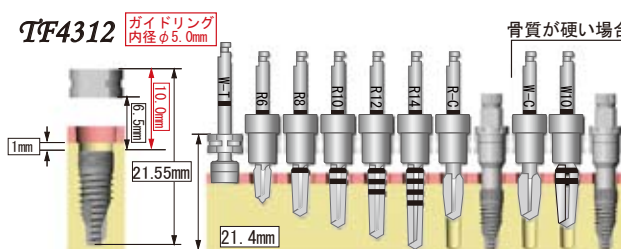
必要なクリアランス  
36.8mm

ドリルの最大深度  
10.4mm

インプラントの最大深度  
10.55mm

(全て骨面から)

- ドリル (ガイドストッパー)
1. W-T/-
  2. R6/WS (銀)
  3. R8/WS (銀)
  4. R10/WS (銀)
  5. R12/WS (銀)
  6. R-C/WS (銀)
  7. W-C/WS (銀)
  8. W10/WS (銀)



必要なクリアランス  
38.4mm

ドリルの最大深度  
12.4mm

インプラントの最大深度  
12.55mm

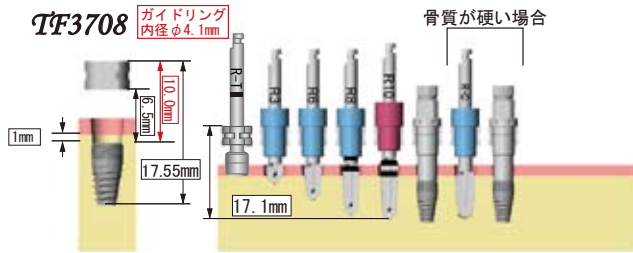
(全て骨面から)

- ドリル (ガイドストッパー)
1. W-T/-
  2. R6/WS (銀)
  3. R8/WS (銀)
  4. R10/WS (銀)
  5. R12/WS (銀)
  6. R14/WS (銀)
  7. R-C/WS (銀)
  8. W-C/WS (銀)
  9. W10/WS (銀)

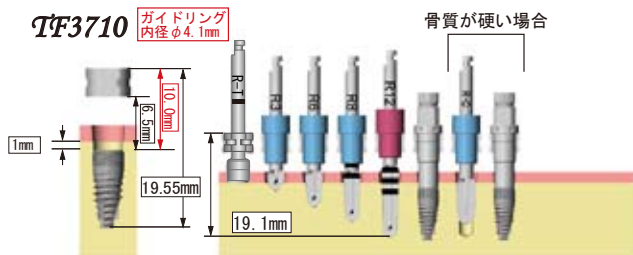
# ミニコントラヘッド用ドリルプロトコール

リングトップからインプラントプラットフォームまで: 10.0mm

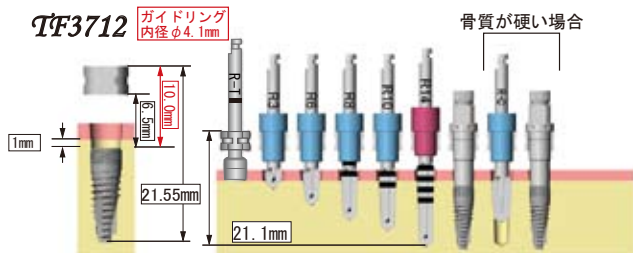
注意事項: インプラントの埋入深さは、挿入ジグとリングトップが接触するまでです。



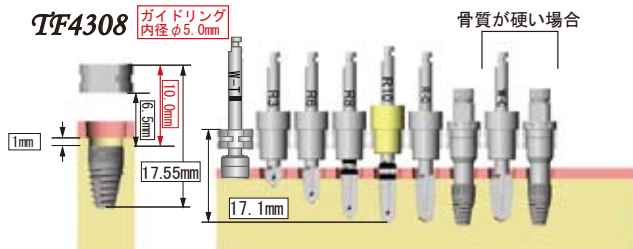
- ドリル (ガイドストッパー)
1. R-T/-
  2. R3/RS (青)
  3. R6/RS (青)
  4. R8/RS (青)
  5. R10/RM (赤)
  6. R-C/RS (青)



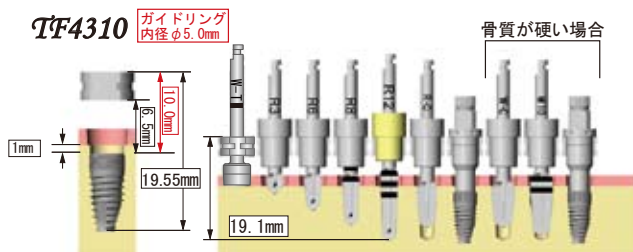
- ドリル (ガイドストッパー)
1. R-T/-
  2. R3/RS (青)
  3. R6/RS (青)
  4. R8/RS (青)
  5. R12/RM (赤)
  6. R-C/RS (青)



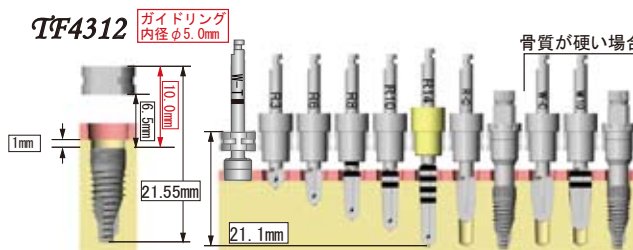
- ドリル (ガイドストッパー)
1. R-T/-
  2. R3/RS (青)
  3. R6/RS (青)
  4. R8/RS (青)
  5. R10/RS (青)
  6. R14/RM (赤)
  7. R-C/RS (青)



- ドリル (ガイドストッパー)
1. W-T/-
  2. R3/WS (銀)
  3. R6/WS (銀)
  4. R8/WS (銀)
  5. R10/WM (黄)
  6. R-C/WS (銀)
  7. W-C/WS (銀)



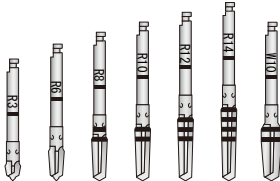
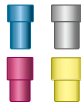
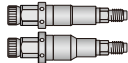
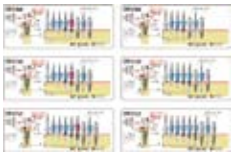
- ドリル (ガイドストッパー)
1. W-T/-
  2. R3/WS (銀)
  3. R6/WS (銀)
  4. R8/WS (銀)
  5. R12/WM (黄)
  6. R-C/WS (銀)
  7. W-C/WS (銀)
  8. W10/WS (銀)



- ドリル (ガイドストッパー)
1. W-T/-
  2. R3/WS (銀)
  3. R6/WS (銀)
  4. R8/WS (銀)
  5. R10/WS (銀)
  6. R14/WM (黄)
  7. R-C/WS (銀)
  8. W-C/WS (銀)
  9. W10/WS (銀)



# MJガイドシステムラインナップ (2017年04月現在)

| 商品コード                                                                                                                                                         | 商品名                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| DD101<br>DD102※ <sup>1</sup>                                                                                                                                  | ティッシュパンチR-T<br>ティッシュパンチW-T                                                                                                                                                                |                                                                                                                                  |
| DD103※ <sup>1</sup><br>DD104※ <sup>1</sup><br>DD105※ <sup>1</sup><br>DD106※ <sup>1</sup><br>DD107※ <sup>1</sup><br>DD108※ <sup>1</sup><br>DD109※ <sup>1</sup> | スタートドリルR3<br>スタートドリルR6<br>スタートドリルR8<br>スタートドリルR10<br>スタートドリルR12<br>スタートドリルR14<br>スタートドリルW10                                                                                               |                                                                                                                                   |
| DD110※ <sup>1</sup><br>DD111※ <sup>1</sup>                                                                                                                    | カウンターシンクR-C<br>カウンターシンクW-C                                                                                                                                                                |                                                                                                                                   |
| KT146<br>KT147                                                                                                                                                | ガイドリングR<br>ガイドリングW                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                  |
| KT148<br>KT149<br>KT150<br>KT151                                                                                                                              | ガイドストッパーRS(青)<br>ガイドストッパーRM(赤)<br>ガイドストッパーWS(銀)<br>ガイドストッパーWM(黄)                                                                                                                          |                                                                                                                                  |
| KT143<br>KT144                                                                                                                                                | SSB1-挿入ジグR-MJ<br>SSB1-挿入ジグW-MJ                                                                                                                                                            |                                                                                                                                  |
| KT160                                                                                                                                                         | CAエクステンションMJ※ <sup>2</sup>                                                                                                                                                                |                                                                                                                                  |
| KT140                                                                                                                                                         | 保持ツール37-43                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                 |
| MJ102<br>MJ103<br>MJ104<br>MJ105<br>MJ106<br>MJ107                                                                                                            | ドリルプロトコール9M3708/4308<br>ドリルプロトコール9M3710/4310<br>ドリルプロトコール9M3712/4312<br>ドリルプロトコール9R3708/4308<br>ドリルプロトコール9R3710/4310<br>ドリルプロトコール9R3712/4312                                              |                                                                                                                                 |
| KTT-06                                                                                                                                                        | MJTUツールBOX-02<br>(MJガイドシステム用ツールボックス)                                                                                                                                                      |                                                                                                                                 |
| フルセット 1 ※ <sup>2</sup><br>(ミニコントラヘッド用)                                                                                                                        | ティッシュパンチR-T<br>ティッシュパンチW-T<br>スタートドリルR3<br>スタートドリルR6<br>スタートドリルR8<br>スタートドリルR10<br>スタートドリルR12<br>スタートドリルR14<br>スタートドリルW10<br>ドリルプロトコール9M3708/4308、9M3710/4310、9M3712/4312 (ミニコントラヘッド用)    | カウンターシンクR-C<br>カウンターシンクW-C<br>ガイドストッパーRS(青) × 6<br>ガイドストッパーRM(赤) × 2<br>ガイドストッパーWS(銀) × 8<br>ガイドストッパーWM(黄) × 3<br>SSB1-挿入ジグR-MJ<br>SSB1-挿入ジグW-MJ<br>CAエクステンションMJ<br>保持ツール37-43<br>MJTUツールBOX-02 (MJガイドシステム用ツールボックス) |
| フルセット 2 ※ <sup>2</sup><br>(レギュラーコントラヘッド用)                                                                                                                     | ティッシュパンチR-T<br>ティッシュパンチW-T<br>スタートドリルR3<br>スタートドリルR6<br>スタートドリルR8<br>スタートドリルR10<br>スタートドリルR12<br>スタートドリルR14<br>スタートドリルW10<br>ドリルプロトコール9R3708/4308、9R3710/4310、9R3712/4312 (レギュラーコントラヘッド用) | カウンターシンクR-C<br>カウンターシンクW-C<br>ガイドストッパーRS(青) × 6<br>ガイドストッパーRM(赤) × 2<br>ガイドストッパーWS(銀) × 8<br>ガイドストッパーWM(黄) × 3<br>SSB1-挿入ジグR-MJ<br>SSB1-挿入ジグW-MJ<br>CAエクステンションMJ<br>保持ツール37-43<br>MJTUツールBOX-02 (MJガイドシステム用ツールボックス) |

※<sup>1</sup> 製造販売元及び医療機器認証番号

株式会社デンテック 〒174-0053 東京都板橋区清水町 53-5

医療機器認証番号 224AKBZX00040000

※<sup>2</sup> フルセット1とフルセット2では付属しているドリルプロトコールが異なります。  
お手持ちのコントラヘッドをご確認のうえ、お求めください。

医療機器承認番号 22000BZX00172000

医療機器届出番号 13B1X10033000001／13B1X10033000002／13B1X10033000003

< 製造販売元 >



ケンテック株式会社

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町52-2

Tel 03-5155-2596 Fax 03-5155-2598

